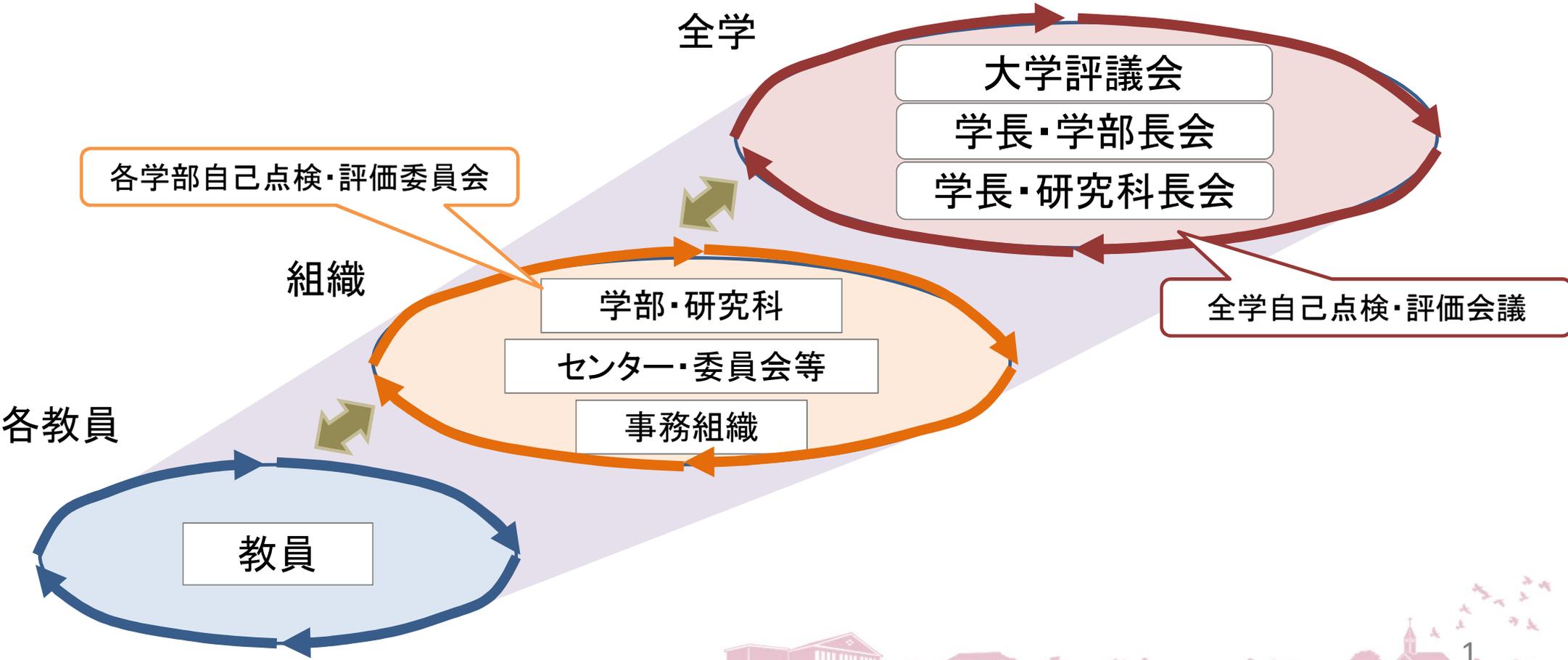
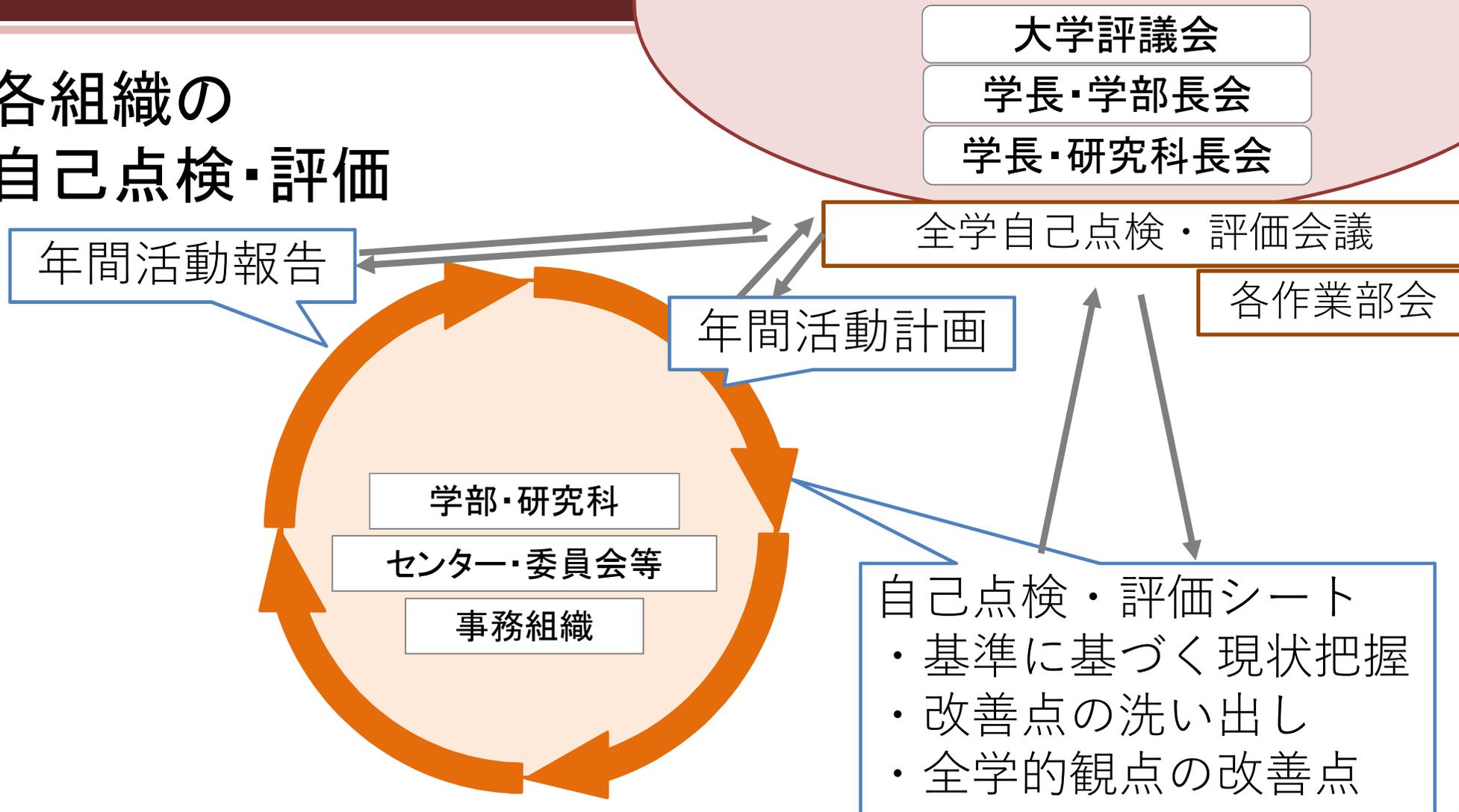


# 桃山学院大学の内部質保証体制



# 各組織の 自己点検・評価



○桃山学院教育大学自己点検・評価規程

2018年(平成30年)3月31日

理事長承認

(目的)

第1条 この規程は、桃山学院教育大学学則第2条第3項の規定に基づき、桃山学院教育大学(以下「本学」という。)の教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動及び管理運営等の状況について、自ら行う点検及び評価(以下「自己点検・評価」という。)および内部質保証の推進に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(自己点検・評価組織)

第2条 本学における自己点検・評価および内部質保証の推進を円滑に実施するために、以下の自己点検・評価組織を置く。

1. 自己点検・評価委員会
2. 自己点検・評価室

(自己点検・評価委員会の役割と職務)

第3条 自己点検・評価委員会は本学における内部質保証の推進に責任を負う。

2 自己点検・評価委員会の職務は次のとおりとする。

1. 自己点検・評価計画の策定
2. 自己点検・評価および内部質保証の推進に関する体制等の審議
3. 自己点検・評価結果の審議
4. 自己点検・評価結果を踏まえた全学的な教育活動等に対する活用方策の検討および改善に係る提言
5. 自己点検・評価結果およびその活用に関する事項について執行部会議への報告
6. 自己点検・評価結果の学内外への公表
7. 外部評価に関する事項
8. その他、自己点検・評価および内部質保証の推進に関する必要な事項

(自己点検・評価委員会の構成)

第4条 自己点検・評価委員会は次の各号に掲げる者をもって組織する。

1. 学長
2. 副学長
3. 学部長
4. 学部長補佐

5. 事務部長
6. 総務担当課長
7. その他学長が指名する者  
(自己点検・評価委員会の運営)

第5条 自己点検・評価委員会は副学長が招集し、その委員長を務める。

2. 委員長は、委員の過半数が出席しなければ委員会を開くことができない。
3. 自己点検・評価委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
4. 自己点検・評価委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(自己点検・評価室の役割と職務)

第6条 自己点検・評価室は自己点検・評価委員会の策定した計画に基づいて各組織における自己点検・評価結果の取りまとめ等を行う。

- 2 自己点検・評価室の職務は次のとおりとする。
  1. 自己点検・評価委員会の策定した計画に基づく自己点検・評価の実施および自己点検・評価に関わる具体案の作成と推進
  2. 自己点検・評価の実施に伴う連絡、調整に関する事項
  3. 自己点検・評価結果のとりまとめ、および自己点検・評価委員会への報告
  4. 自己点検・評価、情報公開等に係わる活動の点検・評価

(自己点検・評価室の構成)

第7条 自己点検・評価室は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

1. 副学長
2. 総務担当課長
3. その他学長が指名する者  
(自己点検・評価の実施機関)

第8条 自己点検・評価を行う実施機関(以下「実施機関」という。)は、次の各号に掲げるとおりとする。

1. 学部
2. 各センター
3. 各種委員会
4. 図書館

5. 教務部
6. 学生部
7. 教育大学事務部
8. その他自己点検・評価委員会が必要と認める機関  
(自己点検・評価の事項)

第9条 実施機関は、次の各号に掲げる事項について自己点検・評価を行う。

1. 公益財団法人大学基準協会の定める機関別認証評価の評価基準に係る事項。
2. その他自己点検・評価委員会および実施機関が必要と認める事項。  
(事務)

第10条 この規程の事務は、教育大学事務室総務グループが行う。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、執行部会議の議を経て学長が決定する。

(雑則)

第12条 この規程に定めるもののほか、自己点検・評価に関し必要な事項は自己点検・評価委員会が別に定める。

付 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

この規程は、2019(令和元)年7月3日から改訂施行する(役職名等関連規定の整理に伴う改訂)。

この規程は、2020(令和2)年4月1日より施行する。(事務組織改編等により一部変更)

この規程は、2021(令和3)年4月1日より施行する。(組織の変更により一部変更)

この規程は、2022(令和4)年4月1日より改訂施行する。(組織の変更により一部変更)

No.	704	科目コード	66100
科目名	キャリア演習 1	授業コード	9316628
教員名	村上 佳司		
授業種別	週間	授業形態	演習
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	3	学期	2023年度 前期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員採用試験合格をめざし、自らの学習計画の作成や実践を行うことができる。</li> <li>・教職教養（思考力・判断力を問う問題を含む）、一般教養に関する知識の習得をめざす。</li> <li>・グループワーク、文章要約、小論文記述、面接練習、集団討論などを実施し、考える力を身につける。</li> <li>・教員になることへの意欲を高め、採用試験に立ち向かうモチベーションを向上させる。</li> </ul>		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員採用試験合格をめざし、教職教養の知識獲得をめざし、過去問などの演習問題に取り組む。</li> <li>・毎時間、文章要約や小論文記述、グループワーク、プレゼンテーションなどを実施し、知識を活用して的確にアウトプットできる力を育成する。</li> <li>・教員採用試験で実施される個人面接、集団面接に向けて対策を講じる。</li> <li>・教職センターと綿密な連携を図り、受講生が目標の達成に向け、主体的に取り組めるよう、学力状況をふまえた適切なアドバイス・支援を行う。</li> </ul>		
授業計画	第1回 オリエンテーションとキャリアガイダンス。（共通開講） 第2回 教員採用試験の概要説明。それに向け対策と計画。小論文対策の解説。 第3回 一般教養学力テスト（1）演習。担当者による個別面談。（学習計画作成の進捗状況。） 第4回 一般教養学力テスト（2）演習。担当者による個別面談。（学習計画作成の進捗状況。）（2回目） 第5回 教育法規① 第6回 教育法規② 第7回 教育法規③ 第8回 教育法規④ 第9回 教育法規分野の確認テスト 第10回 教育原理① 第11回 教育原理② 第12回 教育原理③ 第13回 教育原理④ 第14回 教育原理分野の確認テスト 第15回 学びの振り返りとこれから（共通開講）		
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員採用試験過去問テストを適宜実施し、確実な学力向上を図る。</li> <li>・教育課題を中心にグループディスカッションなどによって聞く力、伝える力を鍛える。</li> <li>・文章要約や小論文記述などにより考える力を身につける。</li> <li>・様々な課題に対して適切に対応することができる実践力を身につける。</li> <li>・教員採用試験に関する各種情報を伝える。</li> </ul>		
アクティブラーニングの視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場に山積する教育課題について原因や背景、自分はどのように取り組むかなど意見交換することで広がりや深まりを期待する。</li> <li>・自己理解を深め、自己の課題と向き合いながら目標と計画をデザインし、主体的に実行できる力を育成する。</li> </ul>		
授業外学習	自分の課題に沿った参考書兼問題集に取り組み、随時ノートを提出する。 また、教職教養や一般教養、思考・判断力を高めるプリントや小論文記述を課す。 毎時間のふりかえりを行い、学習計画を見直す。		
教科書	教職課程ガイドブック		
参考書			
評価方法	授業への参加度 45%、授業外学習（ノート）や課題の提出状況 55% 授業への参加度は、真摯な授業態度や積極的な発言等で評価する。課題の達成度は、教職教養・専門教養・小論文の学習を継続的に行っている中で評価する。確認テスト及び教職教養・専門教養・一般教養の過去問題は採点后、返却し解説する。		
既修条件	なし		
実務経験のある教員による授業	公立学校における教諭の経験に加え、管理職としての経験を生かし、理論と実践を兼ね備えた教員を養成する。		

No.	712	科目コード	66110
科目名	キャリア演習 2	授業コード	9325185
教員名	村上 佳司		
授業種別	週間	授業形態	演習
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	3	学期	2023 年度 後期
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員採用試験合格を目指し、学習計画の作成・実践を行うことができる。</li> <li>・希望する自治体別の出題傾向を知り、それに対する方策を主体的に取り組んで身につける。</li> <li>・ディスカッションを通して、自己分析を行い、教師になりたい動機や理想の教師像を明確に持つことができる。</li> <li>・個人、集団面接の練習を通して、具体的な採用試験対策の方法を身につける。</li> <li>・場面指導、模擬授業の練習を通して、具体的な学習場面を想定した対策方法を身につける。</li> </ul>		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のキャリアを明確に持たせ、具体的な方略を身につけられるように、受験する自治体別の対策方法を身につける。</li> <li>・ディスカッションやグループでの学習を通して、互いに高め合う方法を身につける。</li> <li>・面接指導や場面指導など具体的、実践的な場面を想定した対策を行うことができる。</li> <li>・教職センターと綿密な連携を図り、受講生が目標の達成に向けて主体的に学習に取り組めるよう、学力状況を踏まえた適切なアドバイス・支援を行う。</li> </ul>		
授業計画	第 1 回 オリエンテーションとキャリアガイダンス。(共通開講) 第 2 回 教育時事① 第 3 回 教育時事② 第 4 回 教育時事③ 第 5 回 教育時事④ 第 6 回 教育時事テスト 第 7 回 一般教養学力テスト③ 第 8 回 教育心理・教育史 第 9 回 教育心理・教育史 第 10 回 今年度採用試験の分析・傾向解説 第 11 回 教職教養模擬テスト① 第 12 回 教職教養模擬テスト② 第 13 回 教職教養模擬テスト③ 第 14 回 個人面接・集団面接 第 15 回 学びの振り返りとこれから (共通開講)		
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体別主題傾向の分析を行い、自分が受験する自治体を決めて、その対策や具体的な学習方法を考える。</li> <li>・ディスカッションを通して、自己分析を行い、教員としての資質や能力を高めるための課題を明確にする。</li> <li>・面接練習や場面指導、模擬授業を通して、実践的な方法を身につけるための学習方法を知る。</li> <li>・教職センターと綿密な連携を図り、受講生が目標の達成に向けて主体的に学習に取り組めるよう、学力状況を踏まえた適切なアドバイス・支援を行う。</li> </ul>		
アクティブラーニングの視点	授業と授業外学習の連携を図り、それぞれ個人に沿った課題を見つける。その上で、グループ学習を取り入れる など互いに高め合う方法を身につけさせる。教職センターを活用して自主学習を進める方法も伝える。		
授業外学習	自分の課題に沿った参考書兼問題集に取り組み、毎回ノートを提出する。また、教職教養や一般教養、思考・判断力を高めるプリントや小論文記述を課す。毎時間のふりかえりを行い、学習計画を見直す。		
教科書	教職課程ガイドブック		
参考書			
評価方法	授業への参加度 45%、授業外学習(ノート)や課題の提出状況 55% 授業への参加度は、真摯な授業態度や積極的な発言等で評価する。課題の達成度は、教職教養・専門教養・小論文の学習を継続的に行っている中で評価する。確認テスト及び教職教養・専門教養・一般教養の過去問題は採点后、返却し解説する。		
既修条件	なし		
実務経験のある教員による授業	公立学校における教諭の経験に加え、管理職としての経験を生かし、理論と実践を兼ね備えた教員を養成する。		

2023年6月23日

桃山学院教育大学  
在学生の皆様  
保護者・保証人の皆様

学校法人桃山学院 理事長 出田善蔵  
桃山学院教育大学 学 長 中野瑞彦

### 桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会について（ご報告）

拝啓 平素より、学校法人桃山学院および本学の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月18日（木）から20日（土）および22日（月）に、「桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会」を実施いたしました。4日間で対面・オンライン併せて延べ350名を超える在学生、保護者・保証人の皆様にご出席いただきました。ご案内から説明会までの日程に余裕がない中、貴重なお時間を割いて説明会にご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。

説明会では、大学統合の概要・理由、また、統合後の教育課程・課外活動等について主にご説明いたしました。未確定の内容もある中、まずは決定している内容をご説明する機会として設定しましたため、説明会ではご質問やご意見を多数いただきました。

説明会の場で回答が出来なかったご質問等は、調整・検討の上、順次お知らせしてまいります。

さて、説明会で投影しましたスライド、主なご意見・ご質問をまとめた資料を同封いたしますので、ご確認願います。大学統合については、今後ポータルシステムや説明会等の機会を設けてご説明の上、ご理解いただくよう努めてまいります。

何かご不明な点やご不安な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

なお、本案内は在学生の皆様にはユニバーサルパスポートに掲出し、保護者・保証人の方々に郵送しております。

敬 具

#### <同封資料>

1. 桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に伴う取り扱い
2. 「桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会」【投影資料】
3. 桃山学院教育大学と桃山学院大学の大学統合に関する説明会の主な質疑応答

#### 【問い合わせ先】

桃山学院教育大学事務室 総務グループ  
電 話：072-288-6655(代)／平日 9時～17時  
メー ル：soumu@andrew-edu.ac.jp

## 桃山学院教育大学と桃山学院大学の大学統合に伴う取り扱い

説明会では、統合の概要・理由等、また、統合後の在学生の皆様の教育課程・課外活動等について説明しました。説明内容は、別添「桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会」のスライドにまとめていますのでご覧ください。

※大学統合については文部科学省の認可申請事項のため申請後の状況により変更の可能性があります。

### <現3・4年次生(20P生・21P生)以上の方>(スライドP9)

- ・2025年3月まではこれまでと同様の教育活動を継続します
- ・2025年3月までは堺キャンパスで教育活動を行います
- ・2025年3月までにご卒業の場合は、桃山学院教育大学の学生として卒業します

### <現1・2年次生(22P生・23P生)の方>

#### 1. 統合日

- ・2025年4月1日

#### 2. 統合後の学籍(スライドP10,11)

- ・2025年3月31日までは桃山学院教育大学人間教育学部に在籍し、2025年4月1日以降は桃山学院大学人間教育学部に在籍となります

#### 3. 卒業の取扱い

- ・桃山学院大学として卒業となります(学位【教育学士】の変更はありません)
- ・桃山学院教育大学の名称を学位記に記載できるかどうか等を検討しています
- ・統合するまでの卒業見込みの大学名称は「桃山学院教育大学」となります

#### 4. キャンパス(スライドP12~P18)

- ・2025年4月より、授業や課外活動は原則として和泉キャンパスを利用します
- ・堺キャンパスは一部の実技授業や課外活動・スポーツ交流等で利用する予定です
- ・和泉キャンパスは以前約8,000名の学生(2023年度在籍者約6,200名)が学んでいましたので、皆様の学修環境は確保できる見込みです

#### 5. 施設・設備

- ・現在、和泉キャンパスには、ピアノ練習室、理科室、造形室、音楽室、家庭科室等の施設・設備はありませんが、2025年度までに和泉キャンパスの建物をリノベーションし、学修できる環境を整備します
- ・和泉キャンパス内の実習室等を集約することで、人間教育学部の皆様が自然と交流する機会を作る予定です

## 6. 通学経路変更に伴う経済的支援

- ・大学統合により生じる経済的不利益には、一定の支援（交通費や下宿にかかる費用の補助等）を検討します
- ・具体的な支援内容は遅くとも年内に説明する機会を設けます

## 7. 統合後の教育課程・教育編制（スライドP19, 20）

- ・入学時のカリキュラム（教育課程）や取得できる免許・資格、教育編制の変更はありません

## 8. 学生支援体制（スライドP19, 21, 23, 25）

- ・チューター制、教員免許取得支援の仕組みや体制等は大学統合後も現状を維持します
- ・大学統合後は豊富な国際体験と強いキャリア支援があります

## 9. 奨学金・学費（スライドP19）

- ・現在利用中の JASSO（日本学生支援機構）奨学金および JASSO 以外の外部奨学金は、今後継続できるように調整します
- ・桃山学院教育大学の「入学試験成績優秀者奨学金」、「成績優秀者奨学金」や「授業料減免制度」など、入学時の制度は卒業まで継承されます
- ・統合後の学費については現在の金額から卒業するまで変更ありません

## 10. クラブ活動・課外活動（スライドP19）

- ・卒業するまでの間は現行の部活動を継承します
- ・桃山学院大学に同じクラブがある場合の取り扱いや、統合後の活動場所は、今後各クラブと調整します
- ・強化指定クラブは現行のルール（強化費用や募集枠等）が卒業するまで継続されます

## 11. 下宿

- ・住宅供給公社との契約は継続して利用できるよう調整します
- ・和泉キャンパス周辺の下宿を紹介することは可能です

## 12. 問い合わせ窓口

桃山学院教育大学事務室 総務グループ／平日 9時～17時

電話：072-288-6655(代)

メール：soumu@andrew-edu.ac.jp

以上



2025年4月

# 桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合 に関する説明会

---

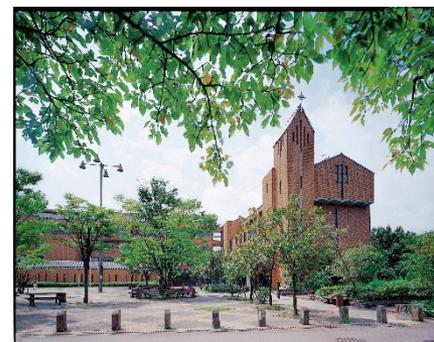
# 桃山学院教育大学の歩み



CMS (英国聖公会宣教協会) 本部  
※英国・ロンドン

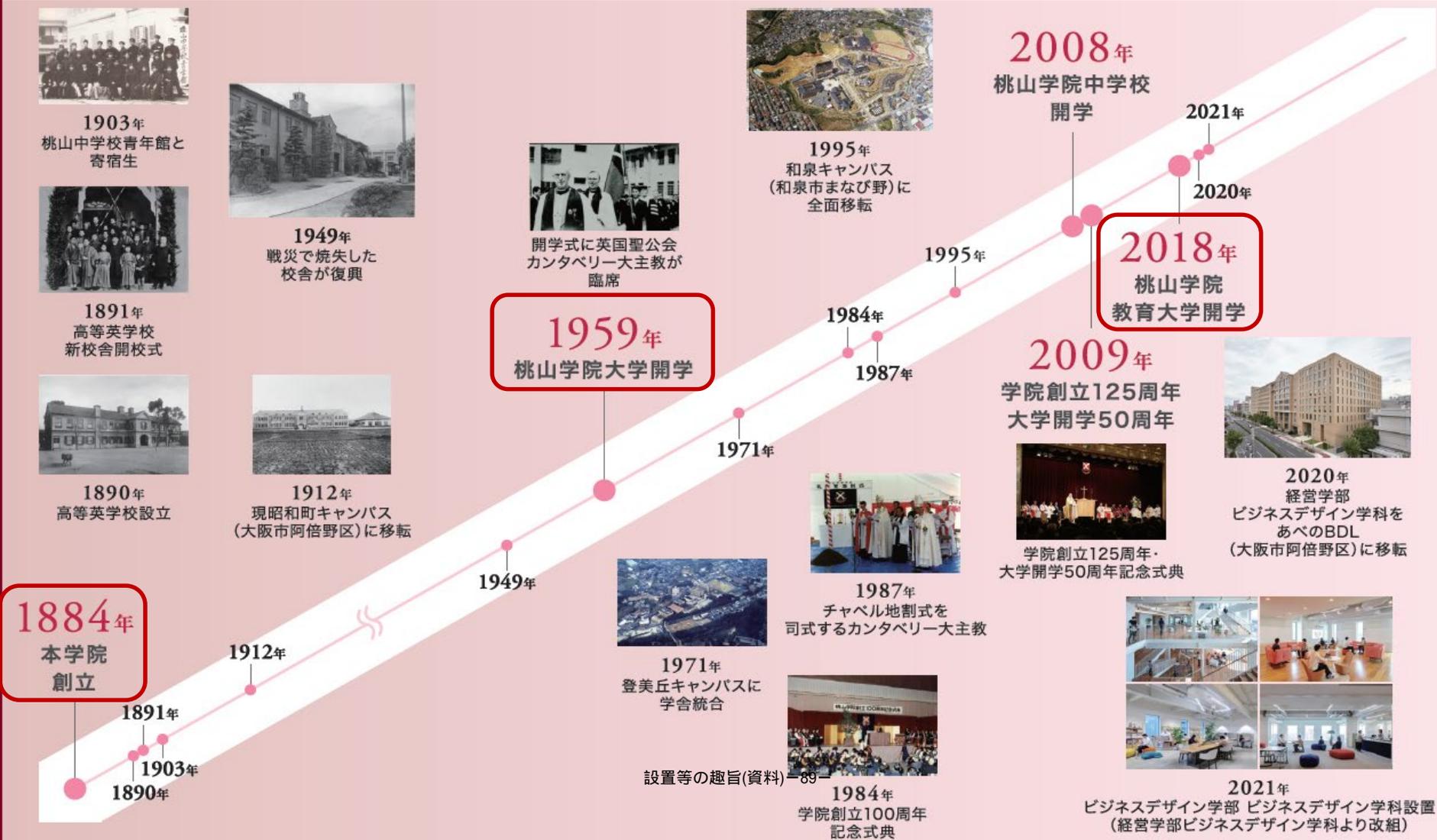


2018年 プール学院大学の設置者を  
学校法人桃山学院に変更。  
桃山学院教育大学開学



# 桃山学院の歩み

明治の初期に来日した英国聖公会の宣教師たちにより創設された、桃山学院。  
当時、世界各国の人々が活躍した国際色豊かな大阪の川口居留地を舞台に、その歴史を歩み始めます。



# 桃山学院教育大学 学校教員採用試験等現役合格者数

## 2023年度 学校教員採用試験等現役合格者数



		2019	2020	2021	2022	2023
合計		19	21	28	75	105
公立	保育士			2	4	11
公立	団体職員(保育職)					10
公立	小学校	6	10	14	45	53
公立	中学校(保健体育)				4	5
公立	高等学校(保健体育)				1	
公立	特別支援学校(支援学級含む)			1	3	7
私立	保育園	3	8	5	7	5
私立	こども園	7	2	1	7	4
私立	幼稚園	2	1	4	2	2
私立	小学校			1		
私立	中学校・高等学校(保健体育)	1				3
私立	養護教諭				2	5

※延べ合格者数

詳細

### 小学校教諭

大阪府、大阪市、堺市、大阪府豊能地区、和歌山県、北海道、千葉県・千葉市、東京都、横浜市、川崎市、新潟県、愛知県、鳥取県、香川県、愛媛県、高知県、北九州市、長崎県、大分県

### 特別支援学校教諭

大阪市(支援学級)、横浜市、川崎市、北九州市

設置等の趣旨(資料)-90-

### 保健体育教諭

中学校(大阪府、愛媛県、高知県、宮崎県) 中学校・高等学校(私立)

### 保育士

堺市、豊中市、藤井寺市、岸和田市 など

## 桃山学院教育大学 在籍学生数

2018	2019	2020	2021	2022	2023
608	644	661	777※	847	885

(毎年度5月1日現在)

※2021年度より入学定員増員(175名→270名)

# 桃山学院大学 学部・学科一覽

学部名称	学科名称	キャンパス
経済学部	経済学科	和泉
社会学部	社会学科	和泉
	ソーシャルデザイン学科	和泉
経営学部	経営学科	和泉
国際教養学部	英語・国際文化学科	和泉
法学部	法律学科	和泉
ビジネスデザイン学部	ビジネスデザイン学科	あべの

研究科	課程	キャンパス
文学研究科	博士前期課程／博士後期課程	和泉
社会学研究科	博士前期課程／博士後期課程	和泉
経済学研究科	博士前期課程／博士後期課程	和泉
経営学研究科	博士前期課程／博士後期課程	和泉

# 桃山学院大学 在籍学生数

(5月1日現在)

学部	学科	2018	2019	2020	2021	2022	2023
合計		<b>6,441</b>	<b>6,322</b>	<b>6,171</b>	<b>6,429</b>	<b>6,651</b>	<b>6,814</b>
経済	経済	1,524	1,492	1,473	1,503	1,513	1,513
社会	社会	1,138	1,107	1,054	1,075	1,098	1,137
	ソーシャル デザイン※1	418	426	411	403	397	387
経営	経営	1,273	1,161	1,060	1,083	1,117	1,224
国際 教養	英語・ 国際文化	1,198	1,186	1,186	1,185	1,130	1,069
法	法律	890	871	837	814	829	823
ビジネス デザイン	ビジネス デザイン※2	-	79	150	366	567	661

※1 2022年度 社会学部社会福祉学科名称変更(社会福祉学科→ソーシャルデザイン学科)

※2 2021年度 ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科設置(経営学部ビジネスデザイン学科より改組)

交換留学生※3	42	56	22	12	27	42
---------	----	----	----	----	----	----

※3 学部+大学院

本学院は、建学の精神に基づいて、地域の未来を支える人を育てます。

地域の多様な社会課題の解決に貢献することで、地域における教育機関として持続的に成長していきます。

### 諸改革の断行

### 地域共生社会の実現に向けて貢献する教育機関への変革

第二期中長期ビジョン

桃山学院将来構想

パーパスの実現

2025年のゴールを  
実現するための  
経営資源の充実を図る

中高が大阪府内で難易度順位上昇  
桃大がビジネスデザイン学部設置  
桃教大が開学、教員採用試験等合格実績向上  
ガバナンス整備、職員人事制度改革等で  
経営基盤を強化

リカレント教育推進事業  
地域密着の社会課題解決型学習推進  
大学学部学科構成の最適化

新市場への挑戦と拡大  
地域の社会課題解決実現  
更なる成長

2013年度

2023年度

2027年度

2050年度

桃山学院は、生徒・大学生層にとどまらずに、対象を横軸と縦軸に面的な展開を図ります。具体的には、横軸として、南大阪（大阪市南部含む）、更には南関西（奈良、和歌山等含む）を基盤として、縦軸として、小・中・高・大、ビジネス層等の社会人、シニア、外国人までを対象に、総合的な教育サービスを提供します。これによって、桃山学院グループは人口問題、少子高齢化問題、外国人受け入れ問題等の地域における社会課題解決に寄与します。

## 20生と21生以上)の方へ

### 授業 課外活動 指導体制

2023年度と2024年度は、  
堺キャンパスで、これまでと同様の  
教育活動を継続

### 卒業

2023年度と2024年度に卒業の方は、  
桃山学院教育大学の学生として卒業

### 2025年度以降 の証明書名称 と発行

卒業証明書や成績証明書は  
桃山学院教育大学の名称で発行

2025年4月以降の発行は、  
学校法人桃山学院で対応予定

※詳しくは決定次第お知らせします。

# 大学統合後に変わること、変わらないこと

## 変更

- 大学名称  
桃山学院教育大学→桃山学院大学
- キャンパス  
大阪府堺市→大阪府和泉市

## 現状維持

- 学部名称
- 指導体制
- カリキュラム
- 教員免許種
- チューター制度
- 教職センター
- キャリアラーニングセンター
- 各種福利厚生(奨学金等)
- 課外活動

# 大学統合後の全体像

2024年度

 桃山学院教育大学

堺キャンパス

人間教育学部	人間教育学科 幼児教育課程 小学校教育課程 健康・スポーツ課程
--------	--

 桃山学院大学  
St. Andrew's University

和泉キャンパス

経済学部	経済学科
社会学部	社会学科
	ソーシャルデザイン学科
経営学部	経営学科
国際教養学部	英語・国際文化学科
法学部	法律学科

キャンパス

ビジネスデザイン学部	ビジネスデザイン学科
------------	------------

設置等の趣旨(資料) - 97-

2025年度

 桃山学院大学  
St. Andrew's University

和泉キャンパス

人間教育学部	人間教育学科 幼児教育課程 小学校教育課程 健康・スポーツ課程
経済学部	経済学科
社会学部	社会学科
	ソーシャルデザイン学科
経営学部	経営学科
国際教養学部	英語・国際文化学科
法学部	法律学科
ビジネスデザイン学部	ビジネスデザイン学科

キャンパス

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
2022年度入学生	堺 (1年次)	堺 (2年次)	堺 (3年次)	和泉 (4年次)	
2023年度入学生		堺 (1年次)	堺 (2年次)	和泉 (3年次)	和泉 (4年次)

# 和泉キャンパス所在地



# 空から見た和泉キャンパス



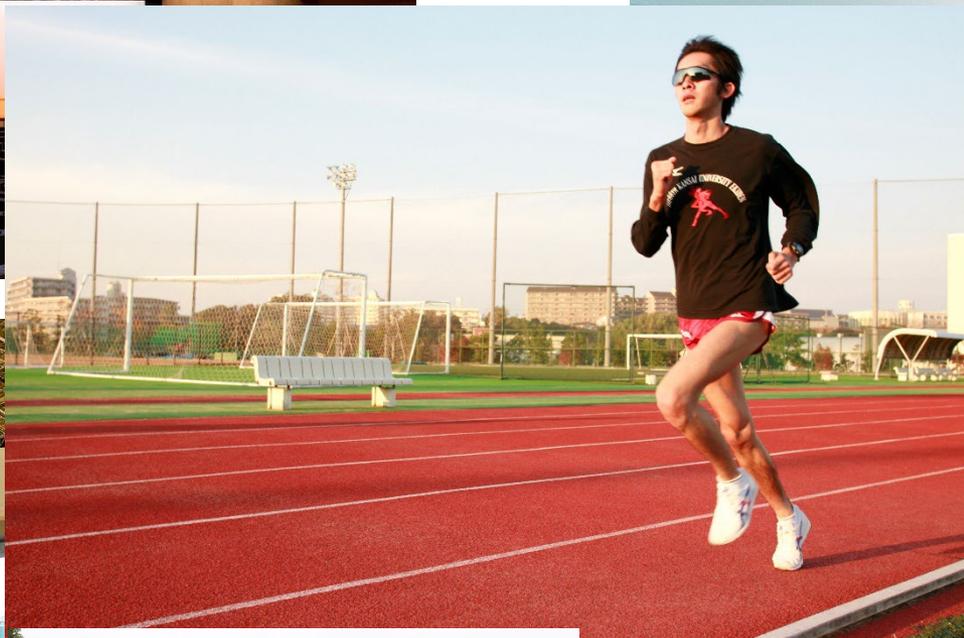
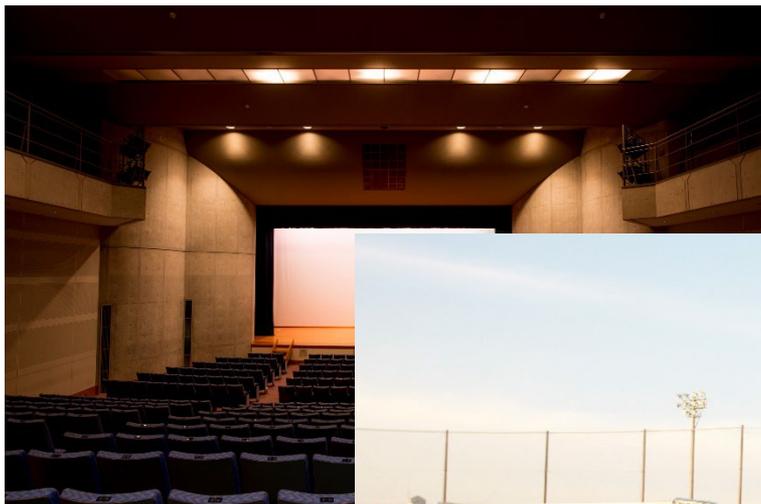
# 和泉キャンパス チャペルと国際交流ホール



# 和泉キャンパス 食堂とカフェ



# 和泉キャンパス 課外活動施設



# 和泉キャンパス 図書館と教室



# 大学統合後に変わること、変わらないこと

## 変更

- 大学名称  
桃山学院教育大学→桃山学院大学
- キャンパス  
大阪府堺市→大阪府和泉市

## 現状維持

- 学部名称
- 指導体制
- カリキュラム
- 教員免許種
- チューター制度
- 教職センター
- キャリアラーニングセンター
- 各種福利厚生(奨学金等)
- 課外活動

# 桃山学院教育大学 授業風景

## 授業風景

～横断的・縦断的で協働的な学びを循環～



TGでの課題発表



各学年で協議



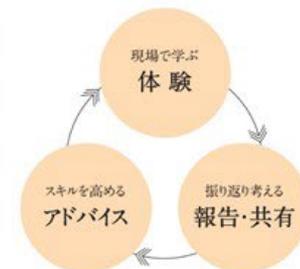
全学年での報告会



教員による講評と指導



学校種ごとの検討会



就職決定率

99.0%

2023年3月中学生  
※4年で卒業した者の実績  
就職希望者に対する割合

公務員合格実績

226名

公務員試験対策講座を実施するなど、  
警察官をはじめとした高い合格実績。  
(2020～2022年度中學生)

大阪府下の大学で  
公務員(警察官)の採用 **5位**

キャリア形成・  
就職活動支援プログラム  
年間実施日

200日以上

就活の進め方などの基礎指導はもちろん、  
実践スキルを磨く各種講座や社会界向け  
のきめ細かなフォローも実施しています。



1対1のサポートによる  
就職活動の個別担任制

# 大学統合後に変わること、変わらないこと

## 変更

- 大学名称  
桃山学院教育大学→桃山学院大学
- キャンパス  
大阪府堺市→大阪府和泉市

## 現状維持

- 学部名称
- 指導体制
- カリキュラム
- 教員免許種
- チューター制度
- 教職センター
- キャリアラーニングセンター
- 各種福利厚生(奨学金等)
- 課外活動

02 豊富な国際体験（海外、国内）

世界トップクラスの大学を含む**26**の国と地域、**64**の大学



-目的やレベルに合わせて選べる  
約30の海外留学プログラム-

-国内でできるグローバル体験-  
年間約300名の留学生を受け入れ  
多彩な国際交流プログラム  
課外の語学講座 & ワークショップ多数

語学やボランティア、環境問題や紛争問題の  
フィールドワークを含め、多様なプログラムを展開

設置等の趣旨(資料)ー109ー

2023年春学期留学生(正規留学生+交換留学生)  
21の国と地域から303名

## 大学統合後に変わること、変わらないこと

### 変更

- 大学名称  
桃山学院教育大学→桃山学院大学
- キャンパス  
大阪府堺市→大阪府和泉市

### 現状維持

- 学部名称
- 指導体制
- カリキュラム
- 教員免許種
- チューター制度
- 教職センター
- キャリアラーニングセンター
- 各種福利厚生(奨学金等)
- 課外活動

# 大学統合後の環境について

和泉キャンパスで学修環境が充実！  
学生生活が、より豊かになります。

## POWER UP 01 充実したキャンパス施設で毎日がパワーアップ！

スポーツ施設も  
交流施設も  
充実！



図書館

聖アンデレ館のB2階から3階までを占め、約70万冊を所蔵。



総合グラウンド

プロの試合ができるサッカー場と陸上競技用施設があります。



トレーニングルーム

総合体育館内にあり、トレーナーが在籍。様々な種類のマシンを完備しています。



カンタベリー館(学生棟)

音楽スタジオや読書室、会議室やアトリエ、大ホールなどを配備。



聖ヨハネホール(国際交流室)

修士大生や留学生が打ち明けやランチなどを自由に楽しむスペース、使用する言語に制限はありません。



聖バルバサ館(3Fカフェ)

学生の意見を基でリニューアルされたカフェ。WiFi環境や充電用コンセントもあります。



温水プール

シャワー室、サウナ、ジャグジーも完備した、25m×8コースの温水プールです。

## POWER UP 02 豊富な国際体験と強いキャリア支援がある！

国際体験プログラムが  
利用できる。

留学をはじめとした、国内外で行うさまざまな国際体験プログラムが利用できます。海外からの留学生も多く、キャンパス内でも国際交流が盛んです。



資格取得支援や  
キャリア支援が充実する。

課外の資格講座が受講でき多様な資格取得にチャレンジできます。また、1対1で学生を支える“就活担任制”の手厚いサポートが受けられることも魅力です。



## POWER UP 03 多様な学生が集いキャンパスライフがパワーアップ！

50のクラブ  
100のサークル。

和泉キャンパスを中心に活動するクラブとサークルは150以上。学歴を超えた友人の輪を広げることができます。



食堂にカフェ、  
コンビニまで学内に。

複数の食堂のほか、カフェやコンビニを利用してランチタイムも充実します。



# 桃山学院教育大学と桃山学院大学の連携実績

## 01 就職活動支援

### 桃山学院大学キャリアセンターとの連携

企業の人事採用担当者を桃山学院大学へお招きして実施する「学内企業説明会」などに、桃山学院教育大学の学生も参加しています。

## 02 単位互換制度

桃山学院教育大学の学生は、和泉キャンパスで行われる桃山学院大学の一部科目を、対面形式またはオンライン形式で履修することが可能です。修了すれば自由選択科目として単位認定されます。「教育」の枠を超えた学びで、幅広い知識と教養を得ることができます。

## 03 施設利用

### 就職活動の拠点としての「大阪・あべのキャンパス」利用

桃山学院教育大学の学生も、桃山学院大学「大阪・あべのキャンパス（大阪市）」を利用しています。情報収集に活用したり、桃山学院大学のキャリアセンタースタッフに相談もできます。

### 「和泉キャンパス」体育施設利用

健康・スポーツ教育課程の実技科目（一部）については、和泉キャンパスの体育・スポーツ施設を利用しています。

## 04 地域連携

桃山学院教育大学の学生団体と桃山学院大学の学生団体が連携し、様々な地域連携活動を展開しています。

例) 「イズミヤゆいテラス河内長野」での活動、「和泉シティプラザ図書館」での活動、「夏のこどもワークショップDAY（主催：フェニーチェ堺）」、「ハルカス学園祭」など

## 05 科目等履修生制度

教職課程を履修中の桃山学院大学の学生が、桃山学院教育大学で取得可能な教員免許の取得を希望する場合、一定の条件を充たすことで、桃山学院教育大学の科目等履修生として、希望する教員免許の取得をめざすことができます。

## 06 入試制度

桃山学院教育大学と桃山学院大学は、「学校推薦型選抜」「一般選抜」において、同一試験日・同一試験場・同一試験科目で実施し、両大学を併願することも可能です。

2023年6月23日

## 桃山学院教育大学と桃山学院大学の大学統合に関する説明会の主な質疑応答

- 日時：①5月18日（木）18：20～19：47（1・2年次生対象）  
②5月19日（金）18：20～19：27（3・4年次生以上対象）  
③5月20日（土）14：00～15：16（保護者・保証人対象）  
④5月20日（土）18：00～18：41（保護者・保証人対象）  
⑤5月22日（月）18：00～18：32（保護者・保証人対象）

### ○質問・意見の件数（延べ）

No	項目	質問件数
1	学生支援体制について	13
2	キャンパス移転に伴う経済的負担増への対応について	12
3	堺キャンパスについて	10
4	桃山学院教育大学の名称（継承）について	9
5	課外活動について	5
6	大学統合の公表時期について	4
7	説明会の日程について	2
8	教学システムについて	2
9	授業等について	1
10	奨学金等について	1
11	その他	15
	計	74

### ○主な質疑応答内容

（以下、桃山学院教育大学を「桃教大」、桃山学院大学を「桃大」と記載しています）

※省略

2023年11月1日

桃山学院教育大学  
在学生の皆様  
保護者・保証人の皆様

学校法人桃山学院 理事長 出田善蔵  
桃山学院教育大学 学長 中野瑞彦

### 桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会（2回目）について（ご報告）

拝啓 平素より、学校法人桃山学院および本学の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

9月9日（土）に保護者・保証人の皆様、25日（月）は在学生の皆様を対象に、「桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会（2回目）」を実施しました。

当日ご出席いただきました皆様、お忙しい中お時間を割いて出席いただき誠にありがとうございました。

さて、5月の説明会と同様に、説明会で投影しましたスライド、主なご意見・ご質問をまとめた資料を同封いたしますのでご確認願います。大学統合については、引き続き情報提供の機会を設定するなど、ご理解いただくよう努めてまいります。

何かご不明な点やご不安な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

なお、本案内は在学生の皆様にはユニバーサルパスポートに掲出し、保護者・保証人の方々に郵送しております。

敬 具

#### <同封資料>

1. 桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に伴う取り扱い（9月説明会）
2. 「桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会（2回目）」【投影資料】
3. 桃山学院教育大学と桃山学院大学の大学統合に関する説明会（2回目）  
の主な質疑応答

#### 【問い合わせ先】

桃山学院教育大学事務室 総務グループ  
電 話:072-288-6655(代)／平日 9 時～17 時  
メー ル:soumu@andrew-edu.ac.jp

## 桃山学院教育大学と桃山学院大学の大学統合に伴う取り扱い（9月説明会）

桃山学院教育大学（以下、「桃教大」）と桃山学院大学（以下、「桃大」）の大学統合に関して、5月の説明会に続き9月9日（土）・25日（月）に2回目の説明会を実施いたしました。

9月の説明会では、キャンパス変更に伴う経済支援、課外活動、大阪府住宅供給公社の家賃割引制度の継続の3点と、1回目の説明会で寄せられた質問4点について主に説明しました。

説明内容は、別添「桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合に関する説明会（2回目）」のスライドをご覧ください。

※大学統合は文部科学省の認可申請事項のため申請後の状況により変更の可能性がります。

### 1. 和泉キャンパスリノベーション計画（スライドP4,5）

- ・大学統合までに和泉キャンパスのリノベーションを行い、人間教育学部の学びに必要な実習施設等を整備する予定です。
  - ①聖マーガレット館（幼児教育課程、小学校教育課程関連実習室）
  - ②合宿棟（健康・スポーツ教育課程関連実習室）
  - ③新棟（全学生が利用可能な交流スペース）

### 2. キャンパス移転時の経済支援（スライドP6,7）

- ・桃教大から桃大和泉キャンパスへ変更することで通学定期代が増額となる場合は、その差額を大学が負担します（上限有り）。
- ・現在下宿している方が、和泉キャンパス周辺に引っ越しする場合に発生する代金（運送費）を大学が負担します。大学が負担するのは運送代金の費用となります（敷金や礼金等は大学負担の対象外となります）。
- ・具体的な手続き方法等は大学統合の時期が近づきましたらご案内します。
- ・バイク通学者のガソリン代増に対する経済支援は継続して検討し、決定次第お知らせします。

### 3. 課外活動（クラブ活動）（スライドP8）

- ・5月の説明会后、両大学で同一種目のクラブは両大学クラブ管理者や部員の皆様で協議を開始しています。これらのクラブは、協議の結果により大学統合後、桃大の体育会本部、文化サークル連合本部に所属する公認クラブとして活動する予定です。
- ・桃教大にあって桃大にないクラブは、桃大のクラブとして活動する予定です。

### 4. 大阪府住宅供給公社の継続（スライドP9）

- ・来年度の入学者も含めて大学統合後も現在の条件で利用可能ですのでご安心ください。

## 5. その他【5月説明会で寄せられた質問への回答】(スライドP10~P12)

※省略

## 6. 問い合わせ窓口

桃山学院教育大学事務室 総務グループ／平日 9時～17時

電話:072-288-6655(代)

メール:soumu@andrew-edu.ac.jp

以上



2025年4月  
桃山学院教育大学と桃山学院大学の統合  
に関する説明会(2回目)

---

2023年9月25日

## 本日の説明内容（目次）

---

1. キャンパス移転時の経済支援について
2. 課外活動（クラブ活動）について
3. 大阪府住宅供給公社の継続について
4. その他  
    < 省略 >

# 大学統合後の全体像

2024年度

 桃山学院教育大学

堺  
キャンパス

人間教育学部	人間教育学科 幼児教育課程 小学校教育課程 健康・スポーツ課程
--------	--

 桃山学院大学  
St. Andrew's University

和泉  
キャンパス

経済学部	経済学科
社会学部	社会学科
	ソーシャルデザイン学科
経営学部	経営学科
国際教養学部	英語・国際文化学科
法学部	法律学科
ビジネス デザイン学部	ビジネスデザイン学科

キャ  
あべ  
の  
ス

2025年度

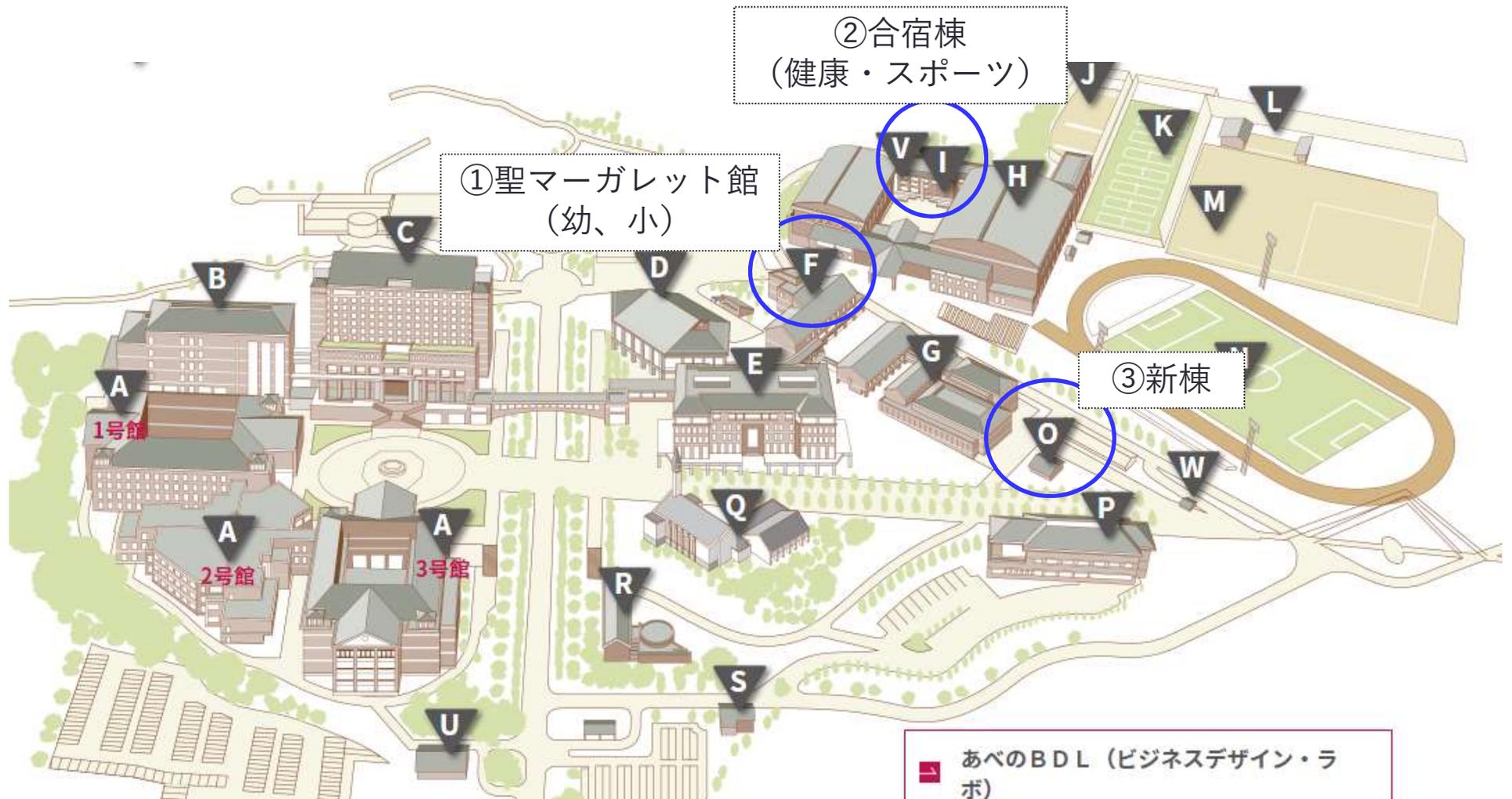
 桃山学院大学  
St. Andrew's University

和泉  
キャンパス

人間教育学部	人間教育学科 幼児教育課程 小学校教育課程 健康・スポーツ課程
経済学部	経済学科
社会学部	社会学科
	ソーシャルデザイン学科
経営学部	経営学科
国際教養学部	英語・国際文化学科
法学部	法律学科
ビジネス デザイン学部	ビジネスデザイン学科

キャ  
あべ  
の  
ス

# 和泉キャンパスリノベーション予定



## 和泉キャンパスリノベーション予定

① 聖マーガレット館外観



② 合宿棟外観



③ 新棟建設候補地



# 1. キャンパス移転時の経済支援について

○経済支援について

経済支援：桃教大から桃大和泉キャンパス  
への変更により発生する増額費  
用相当（上限有り）

①通学費が増額となる場合の差額



②引っ越し代



# 1. キャンパス移転時の経済支援について

○和泉キャンパス周辺に引っ越す場合

対象とならない経費

敷金・礼金・家賃



※桃大紹介物件の多くは  
敷金・礼金不要

対象となる経費

引っ越し代金



## 2. 課外活動（クラブ活動）について



### 体育会本部所属



女子バレーボール



女子バスケットボール



男子バスケットボール



サッカー



陸上競技



硬式テニス

### 文化サークル 連合本部所属



軽音楽

## 3.大阪府住宅供給公社の継続について

○卒業するまで現在の条件で利用可

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
キャンパス	堺	堺	堺	和泉	和泉	和泉
2022年度入学生	(1年次)利用可	(2年次)利用可	(3年次)利用可	(4年次)利用可		
2023年度入学生		(1年次)利用可	(2年次)利用可	(3年次)利用可	(4年次)利用可	
2024年度入学生			(1年次)利用可	(2年次)利用可	(3年次)利用可	(4年次)利用可

## 4.その他

省略

2023年11月1日

## 桃山学院教育大学と桃山学院大学の大学統合に関する説明会（2回目）の 主な質疑応答

- 日時：①9月9日（木）12：30～13：00（保護者・保証人対象）  
②9月25日（月）12：00～12：20（1年次生以上対象）  
③9月25日（月）16：00～16：20（2年次生以上対象）

### ○質問・意見の件数（延べ）

No	項目	質問件数
1	キャンパス移転に伴う経済的負担増への対応について	4
2	課外活動について	3
	計	7

### ○主な質疑応答内容

（以下、桃山学院教育大学を「桃教大」、桃山学院大学を「桃大」と記載しています）

※省略

## 大学統合に伴う桃山学院教育大学からの転入学生に関する規程

## (目的)

第1条 この規程は、桃山学院大学と桃山学院教育大学の統合に伴い、2025年4月1日に桃山学院大学人間教育学部人間教育学科に転入学する学生（以下「転入学生」という。）に関して、桃山学院大学学則（以下「学則」という。）に基づき、必要な事項を定める。

## (在学年数)

第2条 転入学生の在学年数は、桃山学院教育大学における在学年数を算入するものとする。ただし、学則第17条に関わらず、転入学生が、在学年を超えて在学できる年限は2年とする。ただし、特別の事由があると学長が認めた場合は、その願いによりさらに2年を限度として在学年の延長を許可することができる。

## (休学期間)

第3条 転入学生に対する学則第53条に規定する休学期間の適用は、桃山学院教育大学における休学期間と通算して取り扱う。

## (授業科目、単位数、卒業必要単位数)

第4条 転入学生に対する授業科目、単位数および卒業必要単位数は、桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科における転入学生の入学年度に応じて、次のとおり適用する。

2020年度桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科入学者 別表1

2021年度桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科入学者 別表2

2022～2024年度桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科入学者 別表3

2 教育課程の変更に伴い授業科目の変更又は廃止がある場合は、入学年度別授業科目新旧対照表を基に、転入学生の履修に支障のないよう措置するものとする。

## (修得単位)

第5条 転入学生が桃山学院教育大学において修得した単位等数および成績評価は、桃山学院大学における単位数および成績評価とする。

## (取得できる教員免許状の種類)

第6条 転入学生が取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

入学年度	課程またはコース	免許状の種類
2020年度	人間教育学科（幼児教育課程）	幼一種免
	人間教育学科（小学校教育課程） 小学校教育コース	幼一種免、小一種免、特支一種免（知・肢・病）
	人間教育学科（健康・スポーツ）	小一種免、中一種免（保健体育）、高一種免（保健体

	教育課程)	育)、養教一種免、特支一種免(知・肢・病)
2021年度～ 2024年度	人間教育学科(幼児教育課程)	幼一種免
	人間教育学科(小学校教育課程 小学校教育コース)	幼一種免、小一種免、特支一種免(知・肢・病)
	人間教育学科(小学校教育課程 国語教育コース)	小一種免、中一種免(国語)、高一種免(国語)、特支 一種免(知・肢・病)
	人間教育学科(小学校教育課程 英語教育コース)	小一種免、中一種免(英語)、高一種免(英語)、特支 一種免(知・肢・病)
	人間教育学科(健康・スポーツ 教育課程)	小一種免、中一種免(保健体育)、高一種免(保健体 育)、養教一種免、特支一種免(知・肢・病)

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、人間教育学部教授会の議を経て、学長が行う。

付 則

この規程は、2025年4月1日から施行する。ただし、2025年4月1日に桃山学院大学人間教育学部人間教育学科に転入学した学生が在籍しなくなった時点で廃止する。

別表1 (2020年度桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科入学者対象)

1. 基礎教育科目

授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
人間教育原論(2)	人間教育基礎演習1(2)	人間教育基礎演習2(2)	16単位
日本語表現1(1)	日本語表現2(1)	総合英語1(1)	
総合英語2(1)	英語会話1(1)	英語会話2(1)	
体育実技1(1)	体育実技2(1)	情報演習1(1)	
情報演習2(1)			

2. 教養科目

授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
現代国際理解(2)	現代政治理解(2)	現代経済理解(2)	12単位以上
現代社会理解(2)	現代科学理解(2)	キャリア基礎(数学)(2)	
キャリア基礎(理科)(2)	キャリア基礎(国語)(2)	キャリア基礎(英語)(2)	
キャリア基礎(地理歴史)(2)	キャリア基礎(政治経 済)(2)	キャリア基礎(教職教養 A)(2)	
キャリア基礎(教職教養 B)(2)	韓国語1(2)	韓国語2(2)	

中国語1(2)	中国語2(2)	日本の文学(2)
音楽(2)	和の伝統文化論(2)	日本国憲法(2)
心理学(2)	社会学(2)	教育倫理学(2)
経済学(2)	経営学(2)	観光と地理(2)
ジェンダー論(2)	ジャーナリズム論(2)	気象と生活(2)
現代教育理解(2)	救急処置法(2)	生涯スポーツ論(2)
スポーツボランティア論(2)	生涯教育論(2)	フィールドワークA(2)
フィールドワークB(2)		

### 3. 専門基礎科目

授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
人間教育演習1(2)	人間教育演習2(2)	学校保健(2)	12単位以上
特別支援教育(2)	教育原理(2)	教育心理学(2)	
教職概論(2)	保育者論(2)	教育行政学(2)	
教育課程論(幼・小)(2)	保育課程論(2)	教育原理(中・高)(2)	
教育心理学(中・高)(2)	教職概論(中・高)(2)	教育行政学(中・高)(2)	
教育課程論(中・高)(2)	児童文学論(2)	子どもと遊び(2)	
子どもと文化(2)	子どもの社会史(2)	子どもとメディア(2)	
発達心理学(2)	人権教育論(2)	教育評価論(2)	

### 4. 専門科目

授業科目(単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
保育士に関する科目			56単位以上
保育原理(2)	社会福祉(2)	子ども家庭福祉(2)	
社会的養護1(2)	子どもの保健1(2)	子どもの保健2(2)	
子どもの健康と安全(1)	子どもの食と栄養(2)	子ども家庭支援論(2)	
乳児保育(2)	障がい児保育(2)	社会的養護2(1)	
子育て支援(1)	保育実習1A(2)	保育実習1B(2)	
保育実習指導1A(1)	保育実習指導1B(1)	保育実習2(2)	
保育実習指導2(1)	保育実習3(2)	保育実習指導3(1)	
保育実践演習(2)			
教職に関する科目(幼・小)			
道徳教育指導法(小)(2)	総合的な学習の時間の指導法(小)(2)	特別活動論(小)(2)	
教育方法の理論と実践	生徒・進路指導論(小)(2)	教育相談(幼・小)(2)	

(幼・小) (2)		
幼児理解(2)	教育実習指導(幼) (1)	教育実習指導(小) (1)
教育実習1(幼) (2)	教育実習2(幼) (2)	教育実習1(小) (2)
教育実習2(小) (2)	教職実践演習(幼・小) (2)	介護等体験指導(1)
スクール・ソーシャルワーク論(2)		
領域及び保育内容に関する科目		
保育内容総論(2)	保育領域(健康) (2)	保育領域(人間関係) (2)
保育領域(環境) (2)	保育領域(言葉) (2)	保育領域(造形表現) (1)
保育領域(音楽表現) (1)	保育内容(健康) (2)	保育内容(人間関係) (2)
保育内容(環境) (2)	保育内容(言葉) (2)	保育内容(造形表現) (2)
保育内容(音楽表現) (2)	幼稚園指導法(2)	
教科に関する科目(小)		
初等国語(2)	国語科教育法(2)	国語科教育法2(2)
国語科教育法3(2)	初等社会(2)	国際社会と教育(2)
社会科教育法(2)	社会科教育法2(2)	初等算数(2)
算数科教育法(2)	算数科教育法2(2)	算数科教育法3(2)
初等理科(2)	理科実験演習(1)	理科教育法(2)
初等生活(2)	生活科教育法(2)	初等音楽(2)
ピアノ1(2)	ピアノ2(2)	ピアノ3(1)
ピアノ4(1)	ピアノ5(1)	ピアノ6(1)
音楽科教育法(2)	音楽科教育法2(2)	初等図画工作(2)
図画工作科教育法(2)	初等家庭(2)	家庭科教育法(2)
初等体育(2)	子ども健康学(2)	体育科教育法(2)
体育科教育法2(2)	初等英語(2)	外国語(英語)教育法(2)
外国語(英語)教育法2(2)	異文化間理解論(2)	
教職に関する科目(中・高)		
道徳教育指導法(中) (2)	総合的な学習の時間の指導法(中・高) (2)	特別活動論(中・高) (2)
教育方法の理論と実践(中・高) (2)	生徒・進路指導論(中・高) (2)	生徒指導論(2)
教育相談(中・高) (2)	教育実習指導(中・高) (1)	教育実習1(中・高) (2)
教育実習2(中・高) (2)	教職実践演習(中・高) (2)	保健体育科教育法1(4)
保健体育科教育法2(4)		
健康・スポーツに関する科目		
水泳(1)	陸上競技(1)	球技 I (ネット型スポー

		ツ) (1)
球技Ⅱ(ゴール型スポーツ) (1)	球技Ⅲ(ベースボール型スポーツ) (1)	球技Ⅳ(ターゲット型スポーツ) (1)
野外活動(1)	器械運動(1)	体づくり運動(1)
武道(1)	ダンス(1)	体育原理(2)
運動生理学(2)	生理学(2)	スポーツ心理学(2)
運動学(2)	衛生学(2)	公衆衛生学(2)
スポーツ経営管理学(2)	スポーツ社会学(2)	アスレティックトレーニング論(2)
スポーツ医学(2)	スポーツ測定評価法 (2)	エアロビックエクササイズ演習(2)
レクリエーション理論演習(2)	コンディショニング理論演習(2)	テーピング理論演習(2)
トレーニング理論演習(2)	スポーツ栄養学(2)	機能解剖学Ⅰ(2)
機能解剖学Ⅱ(2)	障害者スポーツ演習 (2)	健康運動指導論(2)
スポーツコーチング論(2)	アスレティックリハビリテーション理論演習(2)	運動生理学演習(2)
生活習慣病論(2)		
特別支援教育に関する科目		
特別支援教育総論(2)	知的障害者の心理・生理・病理(2)	肢体不自由者の心理・生理・病理(2)
病弱者の心理・生理・病理(2)	知的障害教育論Ⅰ(2)	知的障害教育論Ⅱ(2)
肢体不自由教育論Ⅰ(2)	肢体不自由教育論Ⅱ(2)	病弱教育論(2)
視覚障害者の心理・生理・病理(1)	聴覚障害者の心理・生理・病理(1)	重複障害者等の心理・生理・病理(2)
視覚障害教育論(1)	聴覚障害教育論(1)	重複障害者等教育論(2)
障害者福祉論(2)	発達障害等教育総論(2)	教育実習指導(特別支援)(1)
教育実習(特別支援)(2)		
養護に関する科目		
養護概論(2)	健康相談活動(2)	栄養学(2)
解剖学(2)	病理学(2)	精神保健(2)
看護学概論(4)	看護実習Ⅰ(2)	看護実習Ⅱ(2)
看護実習Ⅲ(1)	看護実習Ⅳ(救急処置)(1)	養護実習指導(1)
養護実習Ⅰ(2)	養護実習Ⅱ(2)	教職実践演習(養護教

		論) (2)
キャリアに関する科目		
学校インターンシップ (2)	インターンシップA(2)	インターンシップB(2)
インターンシップC(2)	インターンシップD(2)	海外インターンシップ (2)
キャリア演習1(2)	キャリア演習2(2)	キャリア演習3(2)
学校経営と学校図書館 (2)	学校図書館メディアの構 成(2)	学習指導と学校図書館 (2)
読書と豊かな人間性(2)	情報メディアの活用(2)	
専門演習・卒業研究に関する科目		
教育学専門演習1(2)	教育学専門演習2(2)	教育学専門演習3(2)
教育学専門演習4(2)	卒業研究(4)	

別表2 (2021年度桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科入学者対象)

1. 基礎教育科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
人間教育原論(2)	人間教育基礎演習1(2)	人間教育基礎演習2(2)	16単位
アカデミック・スキルズ 1(1)	アカデミック・スキルズ 2(1)	総合英語1(1)	
総合英語2(1)	コミュニケーション英語 1(1)	コミュニケーション英語 2(1)	
スポーツ実技1(1)	スポーツ実技2(1)	情報リテラシー1(1)	
情報リテラシー2(1)			

2. 教養科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
現代政治と経済(2)	現代社会と科学技術(2)	現代メディアとジャーナ リズム(2)	12単位以上
現代思想と哲学(2)	言語と社会(2)	キャリア基礎 (一般教養 A) (2)	
キャリア基礎 (一般教養 B) (2)	キャリア基礎 (教職教養 A) (2)	キャリア基礎 (教職教養 B) (2)	
韓国語1(2)	韓国語2(2)	中国語1(2)	
中国語2(2)	日本文学概論(2)	大阪の文学(2)	
音楽(2)	和の伝統文化論(2)	日本国憲法(2)	

心理学(2)	人権論(2)	救急処置法(2)
生涯スポーツ論(2)	スポーツボランティア論(2)	生涯教育論(2)
キリスト教概論(2)	社会貢献論(2)	多文化共生論(2)
社会福祉学概論(2)	フィールドワークA(2)	フィールドワークB(2)

### 3. 専門基礎科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
人間教育演習 1(2)	人間教育演習2(2)	学校保健(2)	12単位以上
特別支援教育(2)	教育原理(2)	教育心理学(2)	
教職概論(2)	保育者論(2)	教育行政学(2)	
教育課程論(2)	保育課程論(2)	児童文学論(2)	
子どもと遊び(2)	子どもと文化(2)	子どもの社会史(2)	
子どもとメディア(2)	子どもと絵本の世界(2)	発達心理学(2)	
人権教育論(2)	教育評価論(2)	異文化間教育(2)	
異文化間コミュニケーション論(2)	環境教育論(2)	防災・安全教育論(2)	
予防的心理教育(2)	教育臨床心理学(2)	ソーシャルワーク論(2)	
心理教育的アセスメント(2)	部活動論(2)		

### 4. 専門科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
保育士に関する科目			56単位以上
保育原理(2)	社会福祉(2)	子ども家庭福祉(2)	
社会的養護1(2)	子どもの保健1(2)	子どもの保健2(2)	
子どもの健康と安全(1)	子どもの食と栄養(2)	子ども家庭支援論(2)	
乳児保育(2)	障がい児保育(2)	社会的養護2(1)	
子育て支援(1)	保育実習1A(2)	保育実習1B(2)	
保育実習指導1A(1)	保育実習指導1B(1)	保育実習2(2)	
保育実習指導2(1)	保育実習3(2)	保育実習指導3(1)	
保育実践演習(2)			
教職に関する科目			
道徳教育指導法(2)	総合的な学習の時間の指導法(2)	特別活動論(2)	
教育方法の理論と実践	生徒・進路指導論(2)	生徒指導論(2)	

(2)		
教育相談(2)	幼児理解(2)	教育実習指導(幼)(1)
教育実習指導(小)(1)	教育実習指導(中・高)(1)	教育実習1(幼)(2)
教育実習2(幼)(2)	教育実習1(小)(2)	教育実習2(小)(2)
教育実習1(中・高)(2)	教育実習2(中・高)(2)	教職実践演習(2)
介護等体験指導(1)		
領域及び保育内容に関する科目		
保育内容総論(2)	保育領域(健康)(2)	保育領域(人間関係)(2)
保育領域(環境)(2)	保育領域(言葉)(2)	保育領域(造形表現)(1)
保育領域(音楽表現)(1)	保育内容(健康)(2)	保育内容(人間関係)(2)
保育内容(環境)(2)	保育内容(言葉)(2)	保育内容(造形表現)(2)
保育内容(音楽表現)(2)	幼稚園指導法(2)	
教科に関する科目(小)		
初等国語(2)	国語科教育法(2)	国語科教育法2(2)
国語科教育法3(2)	初等社会(2)	国際社会と教育(2)
社会科教育法(2)	社会科教育法2(2)	初等算数(2)
算数科教育法(2)	算数科教育法2(2)	算数科教育法3(2)
初等理科(2)	理科実験演習(1)	理科教育法(2)
初等生活(2)	生活科教育法(2)	初等音楽(2)
ピアノ1(2)	ピアノ2(2)	ピアノ3(1)
ピアノ4(1)	ピアノ5(1)	ピアノ6(1)
音楽科教育法(2)	音楽科教育法2(2)	初等図画工作(2)
図画工作科教育法(2)	初等家庭(2)	家庭科教育法(2)
初等体育(2)	子ども健康学(2)	体育科教育法(2)
体育科教育法2(2)	初等英語(2)	外国語(英語)教育法(2)
外国語(英語)教育法2(2)	異文化間理解論(2)	
国語教育に関する科目		
日本語学概論(2)	日本語学演習1(2)	日本語学演習2(2)
コミュニケーション特論(2)	日本語表現法1(2)	日本語表現法2(2)
日本文学演習1(2)	日本文学演習2(2)	文学表現特論(2)
日本文学史(2)	文化社会論特論(2)	海外の文学1(2)
海外の文学2(2)	漢文学概論(2)	漢文学演習(2)
書道1(2)	書道2(2)	和文化演習1(2)
和文化演習2(2)	言語技術論1(2)	言語技術論2(2)
国語科教育法1(中・	国語科教育法2(中・	国語科教育法3(中・

高) (2)	高) (2)	高) (2)
国語科教育法4 (中・高) (2)		
英語教育に関する科目		
Learning and Teaching Grammar for Communication 1(3)	Learning and Teaching Grammar for Communication 2(3)	English for Communication(2)
Literature in English 1(2)	English Pronunciation Workshop(2)	Interactive English A1 (2)
Interactive English B (2)	Writing and Oral Presentations 1(2)	Writing and Oral Presentations 2(2)
Integrated Listening 1(1)	Integrated Listening 2(1)	Interactive English A2 (2)
Academic Listening and Reading 1 (2)	Academic Listening and Reading 2 (2)	Writing and Debate/Discussion 1 (2)
Writing and Debate/Discussion 2 (2)	English Linguistics Workshop A(1)	English Linguistics Workshop B(1)
Literature in English 2 (1)	Literature in English 3(1)	Academic Listening and Reading 3(2)
Academic Listening and Reading 4(2)	Writing and Debate/Discussion 3(2)	Writing and Debate/Discussion 4 (2)
Practical English Teaching Workshop A(2)	Practical English Teaching Workshop B(2)	Practical English Teaching Workshop C(2)
Practical English Teaching Workshop D(2)	英語科教育法1(2)	英語科教育法2(2)
英語科教育法3(2)	英語科教育法4(2)	
健康・スポーツに関する科目		
水泳(1)	陸上競技(1)	球技Ⅰ(ネット型スポーツ)(1)
球技Ⅱ(ゴール型スポーツ)(1)	球技Ⅲ(ベースボール型スポーツ)(1)	球技Ⅳ(ターゲット型スポーツ)(1)
野外活動(1)	器械運動(1)	体づくり運動(1)
武道(1)	ダンス(1)	体育原理(2)
運動生理学(2)	生理学(2)	スポーツ心理学(2)
運動学(2)	衛生学(2)	公衆衛生学(2)

スポーツ経営管理学(2)	スポーツ社会学(2)	アスレティックトレーニング論(2)
スポーツ医学(2)	スポーツ測定評価法(2)	エアロビックエクササイズ演習(2)
レクリエーション理論演習(2)	コンディショニング理論演習(2)	テーピング理論演習(2)
トレーニング理論演習(2)	スポーツ栄養学(2)	機能解剖学Ⅰ(2)
機能解剖学Ⅱ(2)	障害者スポーツ演習(2)	健康運動指導論(2)
スポーツコーチング論(2)	アスレティックリハビリテーション理論演習(2)	運動生理学演習(2)
生活習慣病論(2)	保健体育科教育法1(4)	保健体育科教育法2(4)
養護に関する科目		
養護概論(2)	健康相談活動(2)	栄養学(2)
解剖学(2)	病理学(2)	精神保健(2)
看護学概論(4)	看護実習Ⅰ(2)	看護実習Ⅱ(2)
看護実習Ⅲ(1)	看護実習Ⅳ(救急処置)(1)	養護実習指導(1)
養護実習Ⅰ(2)	養護実習Ⅱ(2)	教職実践演習(養護教諭)(2)
特別支援教育に関する科目		
特別支援教育総論(2)	知的障害者の心理・生理・病理(2)	肢体不自由者の心理・生理・病理(2)
病弱者の心理・生理・病理(2)	知的障害教育論Ⅰ(2)	知的障害教育論Ⅱ(2)
肢体不自由教育論Ⅰ(2)	肢体不自由教育論Ⅱ(2)	病弱教育論(2)
視覚障害者の心理・生理・病理(1)	聴覚障害者の心理・生理・病理(1)	重複障害者等の心理・生理・病理(2)
視覚障害教育論(1)	聴覚障害教育論(1)	重複障害者等教育論(2)
障害者福祉論(2)	発達障害等教育総論(2)	教育実習指導(特別支援)(1)
教育実習(特別支援)(2)		
日本語教育に関する科目		
日本語教育事情(2)	第二言語習得論(2)	日本語教授法(2)
日本語教育演習(2)	日本語教育実習(2)	日英比較言語学(2)
学校司書に関する科目		
学校経営と学校図書館	学校図書館メディアの構	学習指導と学校図書館

(2)	成(2)	(2)
読書と豊かな人間性(2)	情報メディアの活用(2)	
キャリアに関する科目		
学校インターンシップ(2)	インターンシップA(2)	インターンシップB(2)
インターンシップC(2)	インターンシップD(2)	海外インターンシップA(2)
海外インターンシップB(2)	海外インターンシップC(2)	海外インターンシップD(2)
社会貢献活動A(2)	社会貢献活動B(2)	社会貢献活動C(2)
社会貢献活動D(2)	キャリア演習1(2)	キャリア演習2(2)
キャリア演習3(2)		
専門演習・卒業研究に関する科目		
教育学専門演習1(2)	教育学専門演習2(2)	教育学専門演習3(2)
教育学専門演習4(2)	卒業研究(4)	

別表3 (2022～2024年度桃山学院教育大学人間教育学部人間教育学科入学者対象)

1. 基礎教育科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
人間教育原論(2)	人間教育基礎演習1(2)	人間教育基礎演習2(2)	16単位
アカデミック・スキルズ1(1)	アカデミック・スキルズ2(1)	総合英語1(1)	
総合英語2(1)	コミュニケーション英語1(1)	コミュニケーション英語2(1)	
スポーツ実技1(1)	スポーツ実技2(1)	情報リテラシー1(1)	
情報リテラシー2(1)			

2. 教養科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
現代政治と経済(2)	現代社会と科学技術(2)	現代メディアとジャーナリズム(2)	12単位以上
現代思想と哲学(2)	言語と社会(2)	キャリア基礎 (一般教養A) (2)	
キャリア基礎 (一般教養B) (2)	キャリア基礎 (教職教養A) (2)	キャリア基礎 (教職教養B) (2)	
韓国語1(2)	韓国語2(2)	中国語1(2)	

中国語2(2)	日本文学概論(2)	大阪の文学(2)
音楽(2)	和の伝統文化論(2)	日本国憲法(2)
心理学(2)	人権論(2)	救急処置法(2)
生涯スポーツ論(2)	スポーツボランティア論(2)	生涯教育論(2)
キリスト教概論(2)	社会貢献論(2)	多文化共生論(2)
社会福祉学概論(2)	フィールドワークA(2)	フィールドワークB(2)
データサイエンスの基礎(2)		

### 3. 専門基礎科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
人間教育演習 1(2)	人間教育演習2(2)	学校保健(2)	12単位以上
特別支援教育(2)	教育原理(2)	教育心理学(2)	
教職概論(2)	保育者論(2)	教育行政学(2)	
教育課程論(2)	保育課程論(2)	児童文学論(2)	
子どもと遊び(2)	子どもと文化(2)	子どもの社会史(2)	
子どもとメディア(2)	子どもと絵本の世界(2)	発達心理学(2)	
人権教育論(2)	教育評価論(2)	異文化間教育(2)	
異文化間コミュニケーション論(2)	環境教育論(2)	防災・安全教育論(2)	
予防的心理教育(2)	教育臨床心理学(2)	ソーシャルワーク論(2)	
心理教育的アセスメント(2)	部活動論(2)		

### 4. 専門科目

授業科目 (単位)			卒業必要単位数 (合計124単位以上)
保育士に関する科目			56単位以上
保育原理(2)	社会福祉(2)	子ども家庭福祉(2)	
社会的養護1(2)	子どもの保健1(2)	子どもの保健2(2)	
子どもの健康と安全(1)	子どもの食と栄養(2)	子ども家庭支援論(2)	
乳児保育(2)	障がい児保育(2)	社会的養護2(1)	
子育て支援(1)	保育実習1A(2)	保育実習1B(2)	
保育実習指導1A(1)	保育実習指導1B(1)	保育実習2(2)	
保育実習指導2(1)	保育実習3(2)	保育実習指導3(1)	
保育実践演習(2)			

教職に関する科目		
道徳教育指導法(2)	総合的な学習の時間の指導法(2)	特別活動論(2)
教育方法の理論と実践 (情報通信技術の活用含む)(2)	生徒・進路指導論(2)	生徒指導論(2)
教育相談(2)	幼児理解(2)	教育実習指導(幼)(1)
教育実習指導(小)(1)	教育実習指導(中・高)(1)	教育実習1(幼)(2)
教育実習2(幼)(2)	教育実習1(小)(2)	教育実習2(小)(2)
教育実習1(中・高)(2)	教育実習2(中・高)(2)	教職実践演習(2)
介護等体験指導(1)		
領域及び保育内容に関する科目		
保育内容総論(2)	保育領域(健康)(2)	保育領域(人間関係)(2)
保育領域(環境)(2)	保育領域(言葉)(2)	保育領域(造形表現)(1)
保育領域(音楽表現)(1)	保育内容(健康)(2)	保育内容(人間関係)(2)
保育内容(環境)(2)	保育内容(言葉)(2)	保育内容(造形表現)(2)
保育内容(音楽表現)(2)	幼稚園指導法(2)	
教科に関する科目(小)		
初等国語(2)	国語科教育法(2)	国語科教育法2(2)
国語科教育法3(2)	初等社会(2)	国際社会と教育(2)
社会科教育法(2)	社会科教育法2(2)	初等算数(2)
算数科教育法(2)	算数科教育法2(2)	算数科教育法3(2)
初等理科(2)	理科実験演習(1)	理科教育法(2)
初等生活(2)	生活科教育法(2)	初等音楽(2)
ピアノ1(2)	ピアノ2(2)	ピアノ3(1)
ピアノ4(1)	ピアノ5(1)	ピアノ6(1)
音楽科教育法(2)	音楽科教育法2(2)	初等図画工作(2)
図画工作科教育法(2)	初等家庭(2)	家庭科教育法(2)
初等体育(2)	子ども健康学(2)	体育科教育法(2)
体育科教育法2(2)	初等英語(2)	外国語(英語)教育法(2)
外国語(英語)教育法2(2)	異文化間理解論(2)	
国語教育に関する科目		
日本語学概論(2)	日本語学演習1(2)	日本語学演習2(2)
コミュニケーション特論(2)	日本語表現法1(2)	日本語表現法2(2)
日本文学演習1(2)	日本文学演習2(2)	文学表現特論(2)
日本文学史(2)	文化社会論特論(2)	海外の文学1(2)

海外の文学2(2)	漢文学概論(2)	漢文学演習(2)
書道1(2)	書道2(2)	和文化演習1(2)
和文化演習2(2)	言語技術論1(2)	言語技術論2(2)
国語科教育法1(中・高)(2)	国語科教育法2(中・高)(2)	国語科教育法3(中・高)(2)
国語科教育法4(中・高)(2)		
英語教育に関する科目		
Learning and Teaching Grammar for Communication 1(3)	Learning and Teaching Grammar for Communication 2(3)	English for Communication(2)
Literature in English 1(2)	English Pronunciation Workshop(2)	Interactive English A1(2)
Interactive English B(2)	Writing and Oral Presentations 1(2)	Writing and Oral Presentations 2(2)
Integrated Listening 1(1)	Integrated Listening 2(1)	Interactive English A2(2)
Academic Listening and Reading 1(2)	Academic Listening and Reading 2(2)	Writing and Debate/Discussion 1(2)
Writing and Debate/Discussion 2(2)	English Linguistics Workshop A(1)	English Linguistics Workshop B(1)
Literature in English 2(1)	Literature in English 3(1)	Academic Listening and Reading 3(2)
Academic Listening and Reading 4(2)	Writing and Debate/Discussion 3(2)	Writing and Debate/Discussion 4(2)
Practical English Teaching Workshop A(2)	Practical English Teaching Workshop B(2)	Practical English Teaching Workshop C(2)
Practical English Teaching Workshop D(2)	英語科教育法1(2)	英語科教育法2(2)
英語科教育法3(2)	英語科教育法4(2)	
健康・スポーツに関する科目		
水泳(1)	陸上競技(1)	球技Ⅰ(ネット型スポーツ)(1)
球技Ⅱ(ゴール型スポーツ)(1)	球技Ⅲ(ベースボール型スポーツ)(1)	球技Ⅳ(ターゲット型スポーツ)(1)

野外活動(1)	器械運動(1)	体づくり運動(1)
武道(1)	ダンス(1)	体育原理(2)
運動生理学(2)	生理学(2)	スポーツ心理学(2)
運動学(2)	衛生学(2)	公衆衛生学(2)
スポーツ経営管理学(2)	スポーツ社会学(2)	アスレティックトレーニング論(2)
スポーツ医学(2)	スポーツ測定評価法(2)	エアロビックエクササイズ演習(2)
レクリエーション理論演習(2)	コンディショニング理論演習(2)	テーピング理論演習(2)
トレーニング理論演習(2)	スポーツ栄養学(2)	機能解剖学Ⅰ(2)
機能解剖学Ⅱ(2)	障害者スポーツ演習(2)	健康運動指導論(2)
スポーツコーチング論(2)	アスレティックリハビリテーション理論演習(2)	運動生理学演習(2)
生活習慣病論(2)	保健体育科教育法1(4)	保健体育科教育法2(4)
養護に関する科目		
養護概論(2)	健康相談活動(2)	栄養学(2)
解剖学(2)	病理学(2)	精神保健(2)
看護学概論(4)	看護実習Ⅰ(2)	看護実習Ⅱ(2)
看護実習Ⅲ(1)	看護実習Ⅳ(救急処置)(1)	養護実習指導(1)
養護実習Ⅰ(2)	養護実習Ⅱ(2)	教職実践演習(養護教諭)(2)
特別支援教育に関する科目		
特別支援教育総論(2)	知的障害者の心理・生理・病理(2)	肢体不自由者の心理・生理・病理(2)
病弱者の心理・生理・病理(2)	知的障害教育論Ⅰ(2)	知的障害教育論Ⅱ(2)
肢体不自由教育論Ⅰ(2)	肢体不自由教育論Ⅱ(2)	病弱教育論(2)
視覚障害者の心理・生理・病理(1)	聴覚障害者の心理・生理・病理(1)	重複障害者等の心理・生理・病理(2)
視覚障害教育論(1)	聴覚障害教育論(1)	重複障害者等教育論(2)
障害者福祉論(2)	発達障害等教育総論(2)	教育実習指導(特別支援)(1)
教育実習(特別支援)(2)		
日本語教育に関する科目		

日本語教育事情(2)	第二言語習得論(2)	日本語教授法(2)
日本語教育演習(2)	日本語教育実習(2)	日英比較言語学(2)
学校司書に関する科目		
学校経営と学校図書館(2)	学校図書館メディアの構成(2)	学習指導と学校図書館(2)
読書と豊かな人間性(2)	情報メディアの活用(2)	
キャリアに関する科目		
学校インターンシップ(2)	インターンシップA(2)	インターンシップB(2)
インターンシップC(2)	インターンシップD(2)	海外インターンシップA(2)
海外インターンシップB(2)	海外インターンシップC(2)	海外インターンシップD(2)
社会貢献活動A(2)	社会貢献活動B(2)	社会貢献活動C(2)
社会貢献活動D(2)	キャリア演習1(2)	キャリア演習2(2)
キャリア演習3(2)		
専門演習・卒業研究に関する科目		
教育学専門演習1(2)	教育学専門演習2(2)	教育学専門演習3(2)
教育学専門演習4(2)	卒業研究(4)	